

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	教育委員会文化財課	■担当係	文化財係
■評価事業名称	民俗芸能保存振興補助金		
■評価事業コード	400600 - 051	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり	
	■基本施策	04 芸術文化の振興・国際交流の推進	
	■施策	02 ふるさとの文化財と伝統文化の継承	
■事業の種類	06 負担金・補助金(ソフト事業)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの		
■法令等の名称			
■関連計画の名称			
■事業の概要	市内民俗芸能団体連合会の活動を支援するとともに、民俗芸能を保存伝承している単位団体の伝承活動の支援と育成を図る。民俗芸能団体連合会の運営費助成と活動支援、民俗芸能保存団体が伝承活動するための衣装整備費や道具等修繕費の補助		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成24年度事業計画	平成24年度事業量実績
01	北上市民俗芸能団体連合会運営費補助金	北上市民俗芸能団体連合会		加盟団体数72団体、補助金交付回数1回。
02	民俗芸能保存育成等補助金	民俗芸能団体		交付団体数2団体。
03	民俗芸能伝承活動施設整備費補助金	民俗芸能団体		H24年度執行なし。

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費	943	908	677	366	
人件費	658	491	649	393	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	1,601	1,399	1,326	759	

4. 評価指標等の状況

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

指標 コード	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明
01	補助金の交付団体数	1回	4団体		3団体	事務事業の統廃合整理により、活動指標を変更。要望額の大きい団体については、県文化振興基金を斡旋し対応した。
03	民俗芸能団体連合会に加入している団体数	11団体	73団体		72団体	民俗芸能団体連合会の総会資料
04	交付団体1団体当たりコスト	555千円	349.8千円		253千円	
06	加入団体1団体当たりコスト	50.5千円	19.2千円		10.5千円	

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■ 目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

民俗芸能保存育成等補助金の補助率が1/2から1/3以内になったことにより、申請する団体が減少してきた。

問題点・課題等

少子高齢化や就業形態の変化などにより民俗芸能を伝承している団体が、活動を休止したり解散する例が増えてきた。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■ 今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小・要改善
- IV. 民間活用・協働事業化
- V. 廃止・休止
- VI. 完了

補足説明